

高速道路を安全にご利用いただくためのお願い

◆事故や故障などで高速道路上に停止してしまったら

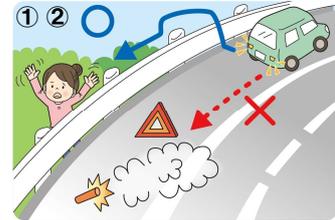
高速道路上の駐停車は、事故や故障などやむを得ない場合を除き禁止されています。

万が一高速道路上に停止してしまった場合は、次の点に注意して身の安全を確保してください。



① 後続車両への合図を!

後続車両の運転者が前方の停止車両に気づいているとは限りません。**ハザードランプを点灯**するとともに、**発炎筒・停止表示器材**を自車の後方に無理のない範囲で設置し、後続車両へ合図してください。



② 安全な場所へ避難を!

車内や道路上に留まるのは、後続車両に追突されるおそれがあり大変危険です。

運転者も同乗者も全員、通行車両や足元に十分に注意し、自車より後方の、ガードレールなどの防護柵より外側の**安全な場所へ速やかに避難**してください。



③ 避難してから通報を!

安全な場所に避難した後、**110番**や**非常電話**^{*1}、**道路緊急ダイヤル (#9910)**^{*2}などで速やかに通報をお願いします。

(※1) 非常電話は高速道路の本線脇におよそ1kmおき（トンネル内は200mおき）に設置されており、受話器を取ると自動的に道路管制センターにつながります。

(※2) 道路緊急ダイヤル (#9910) は携帯電話等からもご利用できます（通話料無料）。

非常電話
 高速道路でやむを得ず
 停車したときは

**非常電話
 SOS**

道路緊急ダイヤル
 「故障車」や「落下物」、
 「道路の破損」などを見つけたら

#9910

高速道路を安全にご利用いただくためのお願い



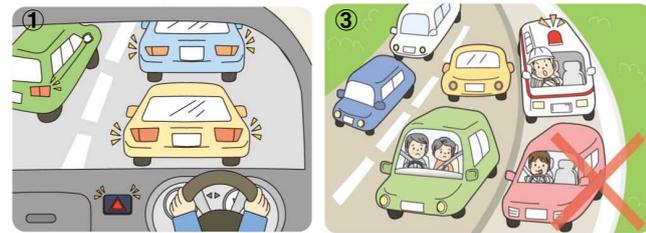
◆渋滞を発見したら

渋滞の中や後尾では、**追突事故が発生しやすい状況**になります。渋滞を発見した場合は、次の点に注意して走行してください。

① 後続車両への合図を!

後続車両の運転者が前方の渋滞に気づいているとは限りません。

ハザードランプの点灯や、**ポンピングブレーキ**などで後続車両へ合図してください。



② 急ブレーキ・急な車線変更は厳禁!

渋滞後尾での急ブレーキは、後続車両に追突されるおそれがあり大変危険です。

前後の車両との距離に注意し、**緩やかに減速**してください。

急な車線変更も追突・衝突事故の原因となりますのでやめてください。

また、渋滞により停止する場合も、前の車と十分な車間距離を取りましょう。

③ 路肩走行は厳禁!

緊急時の救急活動等の妨げとなりますので、**路肩の走行はやめてください**。

★事前の情報確認を!

走行中に道路情報板や工事関係車両のLED表示などで渋滞情報入手した際は、前方に注意してください。
 出発前や休憩時の渋滞情報収集には、WEBサービスの



【参考】高速道路上の停止車両への追突による死亡事故の例

発生日	道路	事故概要	停止状況
2017年2月4日(土)	新東名高速	故障により走行車線上に停止中の普通乗用車に、大型貨物車が追突したものの、普通乗用車の運転手1名死亡、普通乗用車の同乗者3名は車外に避難しており負傷なし。	故障
2017年2月27日(月)	名神高速	別件事故による渋滞の最後尾で走行車線上に停止中の大型貨物車に、普通貨物車が追突したものの、普通貨物車の運転手1名死亡。	渋滞

◆事故を防止するためのポイント

●わき見運転、ながらスマホは絶対禁止！

時速100kmで走行中の車両は、1秒間におよそ28m前に進みます。

考えごとや景色に気を取られての「**わき見運転**」や、運転しながら携帯電話やスマートフォンなどを操作する「**ながらスマホ**」は大変危険ですので、絶対にやめてください。

●前方で思わぬ事態が発生している“かもしれない”運転を！

高速道路上では、渋滞、事故、故障や落下物など、思わぬ事態が発生している場合があります。走行中は、**道路情報板やハイウェイラジオなどの情報をチェック**するとともに、前方で思わぬ事態が発生している“**かもしれない**”運転を心がけてください。

●無理をせず、ゆとりのある運転を！

走行中は、前方の異状に早めに気づき、落ち着いて回避できるよう、**十分な車間距離**をとって、**安全な速度**で運転してください。

特に、雨や雪などで路面の状況が悪い場合や夜間など視界が悪い場合、漫然な運転になりがちな深夜・早朝の時間帯には一層注意をしてください。

危険な運転者に追従されるなどした場合は、サービスエリアなど近くの安全な場所に待避するとともに、警察に110番で通報してください。



(株)ポケモンとの共同実施による「ながらスマホ」防止ポスター